

# 活用調査表

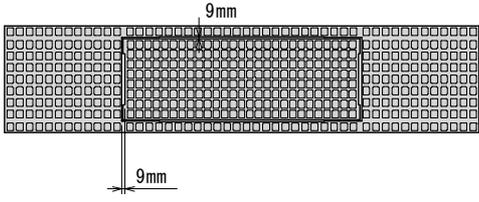
様式6

技術名 <b>ユニバーサル側溝</b>	登録 No.
	21D1005

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成22年
発注機関	南魚沼地域振興局地域整備部
工事名	下折立浦佐(T)線側溝修繕工事
施工地	南魚沼市荒金地内
施工数量	37m

<特長>

①「交通バリアフリー法」に準拠して、蓋版の切欠きを9mmに抑えました。



②製品の強度が向上しました。

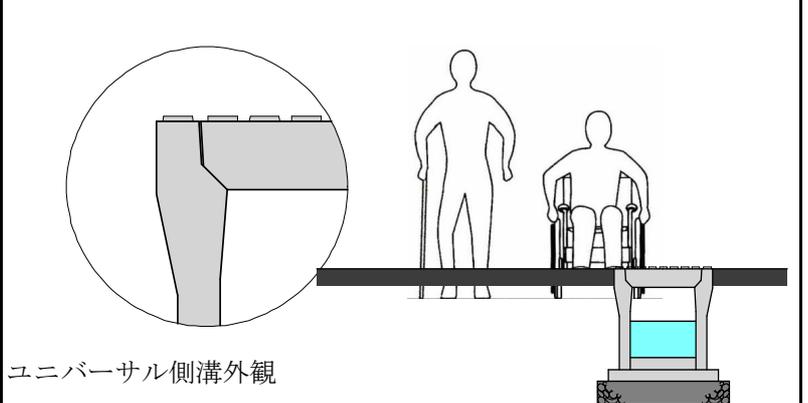
③蓋版形状をくさび形に改良し、低騒音型にしました。

**新技術の概要**

従来の自由勾配側溝に比べ交通バリアフリー法に準拠し蓋版手掛けを10mm以下に抑え、すべてのひとにやさしい「ユニバーサルデザイン」を実現しました。また蓋版の形状を改良しガタつきを無くすと同時に、従来製品より部材強度を持たせ、ライフサイクルコストの低減を目指しました。

**トライアル工事での評価結果**

比較した従来技術		自由勾配側溝
項目	評価	評価内容
経済性	□	従来と変わらない。
工程	□	工事規模が小さいため、蓋版の長尺化(1m)による作業工程の短縮はみられなかった。
品質出来形	○	ガタツキ解消で蓋の破損が減少する。また、開口部が減少し見た目がよい。
安全性	□	従来と変わらない。
施工性	○	専用蓋掛け機により機械化が進み、作業員の負担が減る。
環境	○	ガタツキが解消し騒音が減少する。また、開口部が減り、景観が向上する。
その他		手掛け部が狭くなり、ヒール、杖などが落ち込まず歩行者に安心。側壁が垂直なため、路盤の転圧が確実にでき、路盤沈下軽減が期待できる。



工事完了



◎:優れている    ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている    ×:劣っている

活用上の留意点	施工後に蓋版を外す場合は専用の蓋掛け機が必要。車道横断部には横断用製品、地盤の高低差がある箇所には土留用を使用する。
---------	--

<b>新技術問い合わせ先</b>	
会社名	(株)ホクエツ信越
所属部課	新潟営業所
担当者	石崎誠一
TEL	025-285-5989